

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2024 年 6月 19日	
都道府県知事 (市長)	殿
提出者 土佐屋コンクリート工業(株)鹿央工場 住 所 熊本県山鹿市鹿央町千田1755番地 氏 名 馬場 学 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0968 (36) 3131	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	土佐屋コンクリート工業(株)鹿央工場
事業場の所在地	熊本県山鹿市鹿央町千田1755番地
計画期間	2024年 4月 1日 ～ 2025年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	窯業土石、コンクリート製品(2523)
②事業の規模	2023年度 製品出荷額 475,320,000円
③従業員数	24 名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	製造ライン → 原水ピット → 攪拌槽 → 濃縮槽 → 真空脱水 → 脱水汚泥 脱水汚泥 → 再生利用 脱水汚泥 → 最終処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) <pre> graph TD A[工場長 (廃棄物処理統括責任者)] --- B[廃棄物管理担当] B --- C[生産部門] </pre>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	無機性汚泥	
	排出量	1217 t	t
	(これまでに実施した取組) ・製造工程上の、生コン取扱いについての従業員教育の徹底 ・節水 ・脱水機のメンテナンス向上		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	無機性汚泥	
	排出量	1000 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・生コン練り量の、適量化 ・製造工程上の、生コン取扱いについての従業員教育の徹底 ・節水 ・脱水機のメンテナンス向上		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2022 年度） 実績】		
	産業廃棄物の種類	無機性汚泥	再生骨材
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	2 t	168 t
	（これまでに実施した取組） ・ 積みブロック及び基礎版への一部使用 ・ 再生骨材として利用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	無機性汚泥	再生骨材
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	10 t	180 t
	（今後実施する予定の取組） ・ 積みブロック及び基礎版への一部使用 ・ 再生骨材として利用		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2023 年度） 実績】		
	産業廃棄物の種類	無機性汚泥	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	774 t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 脱水処理		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	無機性汚泥	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	750 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 脱水処理機の維持管理の強化		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	無機性汚泥	
	全 処 理 委 託 量	772 t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	— t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	— t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	— t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・ 無機性汚泥について、活用方法の検討・研究 ・ コンクリート練り量、配合の検討・研究		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	無機性汚泥	
	全 処 理 委 託 量	700 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	— t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・無機性汚泥について、活用方法の検討・研究		
	・コンクリート練り量の適量化、配合の検討・研究		
・骨材の品質検討			
※事務処理欄			